648

(1)

反応の前後で質量数の和と電荷の和は変化しない。

反応前の質量数A、電荷の和Eはそれぞれ 236,92 である。

①,②に入る値をm,nとすると、

反応後の質量数、電荷の和はそれぞれ 234 + m, 97 - n と表せるので、

$$236 = 234 + m$$
, $92 = 97 - n$

$$\therefore m = 2 , \therefore n = 5$$

よって、中性子が2個、電子が5個放出される。

(2)

反応前,反応後の総質量 m_1, m_2 はそれぞれ、

$$m_1 = 235.04 + 1.01$$

= 236.05 u

$$m_2 = 136.91 + 96.91 + 2 \cdot 1.01$$

= 235.84 u

よって、質量欠損△mは、

$$\Delta m = m_1 - m_2$$

$$= 236.05 - 235.84$$

$$= 0.21 u$$

$$= 3.49 \times 10^{-28} kg$$

(3)

$$\Delta E = \Delta m \cdot c^2$$
 より、(結合エネルギーの式)

$$\Delta m = 3.49 \times 10^{-28} kg$$
, $c = 3.0 \times 10^8 \, m/_S$

$$\Delta E = (3.49 \times 10^{-28}) \cdot (3.0 \times 10^8)^2$$

$$= 3.14 \times 10^{-11} J$$

$$= 1.96 \times 10^8 \text{ eV}$$
 $(1\text{eV} = 1.6 \times 10^{-19} \text{J} \text{L})$

(4)

²³⁵U が1個の質量*m*は

$$m = 235.04 u = 3.9 \times 10^{-25} kg$$
 である。

よって、質量1.0kgの $^{235}_{92}U$ の個数Nは、

$$N = \frac{1.0}{3.9 \times 10^{-25}} = 2.56 \times 10^{24}$$
 個 となる。

よって、放出されるエネルギー ΔE_0 は、

$$\Delta E_0 = \Delta E \cdot N$$

= (3.14 × 10⁻¹¹) \cdot (2.56 × 10²⁴)

=
$$8.04 \times 10^{13} J$$

= $1.91 \times 10^{13} cal$ (1 $cal = 4.2 J$ より)